

の両方を一人でも多くの日本の方が手に入れ、少し大げさかも知れませんが、日本が世界で更に戦えるようになることを願い、本稿を締めくくりたいと思います。

最後に、PE 登録の推薦人などになって頂きました方々と私を支えてくれた家族に感謝申し上げます。

以上

PE登録体験記 2

1. 会員番号 PE0234 氏名 横山佳生
2. 登録州 米国テキサス州
3. 専門分野 Petroleum Engineering
4. 保有資格 PE66892(Texas, Petroleum)
5. PE 体験記



本年4月にJPSEに入会しました横山です。6月6日の総会で、理事の末席に入れて戴き、総務を担当しております。

早速、会員部の方から、PE登録体験記を書くように依頼されました。正直なところ、そもそもFE試験を受けたのが、35年も前ですので、詳しいことは覚えておりませんので、思い出せることだけを記したいと思います。

私は、テキサス大学大学院へ留学中の1980年にFE試験をうけました。学内でFE試験の受験セミナーがあり、試験概要、過去問題集をもらい勉強しました。試験内容は日本の高校レベルだったように記憶しています。現在はコンピューターでの試験のようですが、当時はペーパー試験でした。

試験当日は、参考書持ち込み可で、大量の書籍を持ち込みました。試験は丸1日かかりで、知力はともかく、体力勝負で、時間内に多くの設問を如何に早く正確に解くかが問われ、試験の直後ははくたくたで、暫し放心状態だったと記憶しています。幸いにも1回で合格することができました。

大学でマスター(M.S.)の学業を終えた後、本邦石油会社のサウジアラビア鉱業所に赴任し、油田の開発・生産操業の業務に携わりました。そこで、欧米のシュランベルジ

ヤー社、ハリバートン社といったコントラクターから派遣された PE と仕事をする機会があり、彼等に啓発され、1989 年にテキサス州での PE 登録 (Petroleum 部門) を行いました。

PE 試験のことは、よく覚えておりません。試験というより、業務経歴書、小論文、海外発表論文の紹介、それに加えて、3 人の PE および 2 人の上司からの Reference Letter を提出しました。それ以来、毎年更新をして 26 年になります。

Texas 州での PE 登録・更新手続きは、昨年から少し変わっております。Criminal History Record Check (CHRC) の手続き、FD-258 という用紙に両手 10 本全ての指の指紋押印して、MorphoTrust という機関に送り、犯罪歴がないことを証明してもらう必要があります。少々面倒ですが、FD-258 は、PE の母体である Texas Board of Professional Engineers (TBPE) に頼めば郵送してくれます。また、指紋採取は米国大使館ではやってもらえないので、各県警本部（私の場合は埼玉県警）の鑑識課に FD-258 を持参すれば、採取してくれます。

6. 海外勤務

海外での勤務は 24 年にのぼります。サウジアラビア、クウェイト、エジプトといった中東が中心で、他にアメリカ、ノルウェイ、トルコ等の油・ガス田の現場で働いてきました。石油会社でいわゆるオーナーサイドにいましたので、直接 PE 資格を必要とはしませんでした。コントラクター各社の PE と親交を深めることができました。名刺に PE と記しておく、彼らも親近感を持って、接してくれました。

現在は、石油開発のエンジニアリング、コンサルティングをやっております。米国等では、油・ガスの埋蔵量、その減価償却等を所轄官庁に報告する際、登録認証された PE の署名が必要とされることが多いので、本邦の米国市場への進出企業からの依頼もできております。

7. 今後の抱負

JPSE では、ほとんどの方が現役バリバリで勤務されながら、ボランティアで協会理事の業務をされていると伺っています。私とは、年齢的にも一回りぐらい若い方々が活躍されている中、年寄りが出しゃばる気持ちは毛頭無く、なにか皆様のお手伝い、サポートができればと考えている次第です。私の拙い経験が、PE の認知度向上に少しでもお役にたてればと思っています。